

早瀧比咩神社通信

発行所：早瀧比咩神社
総代：早瀧比咩神社
発行：不定期
編集：葛原

春大祭行われる

子ども御輿も元気よく

平成から令和へ改元されてから最初のお宮行事となる春季例大祭が五月晴れの五月五日 午前10時より素戔嗚神社（小宮さん）で吉野宮司を始め、関係者と招待者など約20名が出席の上、執り行われしました。地区の無事平穏を祈願したのち、子ども御輿の入魂式を行い、本日の巡行が安全に行われるよう祈願しました。子ども御輿は子ども会員



元気に出発前の子ども会

と育成会員の手により、元氣にお宮を午前10時30

分出発し、滝地内を巡行、午後1時頃無事にお宮に

後にはどちらの御輿でも巡行できるようなお宮で管理します。例大祭と子ども御輿の巡行に皆様からご寄進いただき、ありがとうございます。

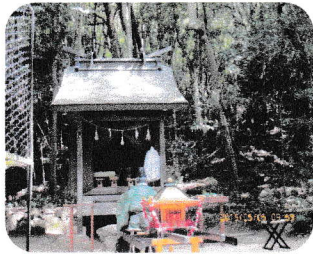
五月月次祭

五月一日午前五時より月次祭を執り行いその後総代会を開きました。

大祭は毎年5月にこの素戔嗚神社にて行われています。

特集 素戔嗚神社

います。神前にある備前焼の唐獅子（狛犬）製作者は江戸期の寛政年間に備前北釜の十七人衆の一人で細工物の第一人者といわれた木村直在工門真直、現在でいえば人間国宝級の工人です。春季例



神社前で今年の春大祭

寄進石碑傾く

おきづきの方も多いとは思いますが、昭和五年ころ、早瀧比咩神社拝殿建立の際、境内の客殿南側に設置されている石碑が傾いています。倒壊すると重大な人身事故につながる恐れがあり、現在立入制限をして復旧を計画



立入制限中

しています。部分的に毀損した石碑も見受けられ

ますが、長年にわたる裏山の土砂が石碑を押し耐え切れず傾いていると思われま。氏子奉仕作業での修復は困難なので



お宮に向いお辞儀

業者に依頼します。該当する石碑を一旦外し、裏山土砂を部分的に撤去したのち垂直に復旧することになります。このため工事費も嵩みますが、安全が最優先なのでご了承ください。

ハプニング



崩落以前の灯籠

春祭りの準備作業中に素戔嗚神社神前の古い灯籠が突然崩落しました。幸いだけ



崩落の灯籠

にも怪我はなかったがヒヤリハットの出来事でした。総代会としては時間と費用が発生しても復旧したいと考えています。

噴水池

お宮に向かって参道右手（北側）に緋鯉を飼っている噴水池があります。この池には落ち葉や土が流れ込むため清掃作業を毎年八月に行っています。水抜き作業に以前は加茂分団にお願いしていましたが、ヘドロが多くポンプを詰まらせて故障が起きたことがあります。



噴水池の全景

現在はバケツリレーなど手作業で汲み出したり、水中ポンプを使って排水をしています。酷暑の中で時間がかかり作業そのものもハードです。何か良い方法がないかと思案しています。池の底からバルブを介して太めの塩化ビニール管で滝川へ地中配管するのも一案かと思ひます。

七月行事

七月三日（水）午前10時より 当社の末社のひとつで龍土宮祭（竜王様）雨乞いの式典を行います。皆様お参りください。

七月二十八日（日）午後七時より早瀧比咩神社拝殿にて夏越祭（輪くぐり祭）茅の輪をくぐり猛暑を乗り切りましょう。

誤記訂正

前号記事で、行事の予定で秋祭りは正しくは10月19、20日でした。おわびのうえ訂正します。

あとがき

新体制発足早々修復の必要な工事が発生しています。修復に時間と費用が必要ですが、目をつぶるわけには行かず苦慮しています。先号発行以来皆様から内容のご指摘と励ましを頂き感謝です。なお特集記事は武下嘉之氏原作（滝壮年会再製）の説明板内容を引用させて頂いています。（編集子）